9/26（土）

子どもの笑顔があふれるまち かわさき

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

令和８年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆

「明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私」をイメージする学び



9月26日（土）本年度のかわさき教師塾がスタート！川崎市の教育を担っていく仲間との最初の出会い、演習等の中で「ありがとう」の気持ちが交差する皆さんの緩やかな表情が印象的でした。

令和８年９月２６日（土）日程

10:00　開講式
10:30　総合教育センター所長講話
12:00　～昼食　休憩～
13:05　かわさき教育プランと川崎市の教育現場の実情
13:35　－休　憩－
13:40　人権を尊重する川崎市の教育
14:10　－休　憩－
14:15　今、教員に求められていること
14:45　振り返り・事務連絡　　15:00　終了

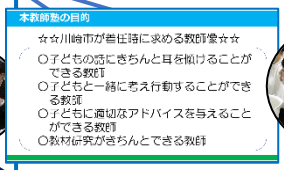




教師の仕事は創造的で魅力がある









生徒一人ひとりの個性と共に生活し、学んでいく中で、毎日違う１日、新たな発見を見出せることが教師の大きな魅力であると感じた。



最初は初対面の人が多く緊張しましたが、演習などを通してすっかり緊張も解けて前向きに楽しく取り組むことができました。



わたしたちのまち　川崎

先生がかけてくれた言葉、キャリアパスポートを通じた自分の在り方を見つめる時間、人権教育の基盤であるかわさき教育プランをこれから大切にしていきたい。





「〇年生だから」「普通は…」など、教師の無意識の発言が子ども傷つけていることを学んだ。だからこそ心の余裕をもち、対話をし、チームで働くことを大切にしたい。



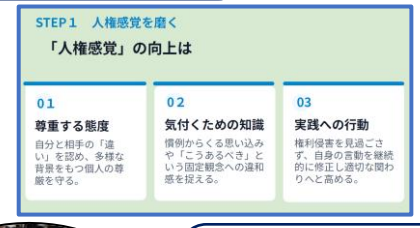




教師の醍醐味は…想像を越えていく子どもたちの成長…感動できる日々の営み…

他の校種や他の大学の方、社会人の方から様々な意見・考えを聞くことができ、視野が広がった。教師の魅力には、教師自身の成長もあることに気付けてよかった。

「探究的な学び」の実践は難しそうですが、子どもたちにはやりがいや楽しさがある授業だと思うので、ぜひ実践していきたい。





子どもの笑顔を支えるために





子どもが主役。子どもの意見を聞くということが、子どもが自分らしくいることにつながると感じた。



特に大切にしたいことは「子どもから学ぶ」ことです。多くの子どもたちと関わっていく中で学び続け、教員でしか味わえない気付きや感動を得たい。

常に子どもを最優先に考え、向き合う先生方の姿を現場で感じてみたい。

子どもを笑顔にするためには、まず大人の教師が幸せでないといけないことを学んだ。



今、教員に求められていることは、子どもたちが教員に求めていることでもあると感じた。



令和8年度は、10月24日（土）11月14日（土）、12月12日（土）、1月16日（土）、2月13日（土）の昼休みに、教職員人事課による受講生を対象とした「教員採用試験に向けた個別相談会」を実施する予定です。

あっという間の４時間でした。子どもの成長を沢山肌で感じながら私も成長していきたい。決意を新たにした１日でした。

